

Game生活の ススメ Vol.161

シンプルなルールで大人でもグループで手軽に楽しめるカードゲームを2点紹介します。コンパクトでお出かけにもってこいです

犯人はお前や



『犯人と対決! の巻』



バンデイド

¥1,540
(Helvetiq社/スイス)

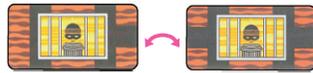
牢屋から脱出しようとする悪者(バンデイド)を逃がさないように、すべての通路の端を行き止まりにする協力型カードゲームです。

- ・人数: 1~4人
- ・対象: 6歳位から
- ・時間: 15分位
- ・道カード 69枚、スタートカード 1枚

遊び方

スタートカード: 大きめのテーブルの中央に置きます。
道カード: よく混ぜ、3枚ずつを手札に、残りは山札に。

スタートカード:
牢屋から脱出を
たくらむ悪者



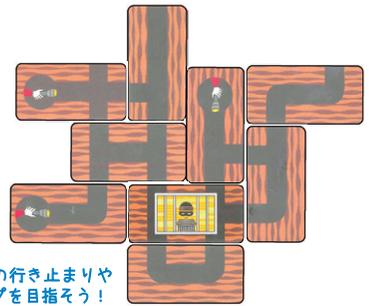
裏表で難易度が変わります。
出口5つ(易)・出口6つ(難)

自分の番で、手札1枚を選び、通路が上手くつながるように並べます。山札から1枚補充し、手番交代。

手札がどうやってもつなげられないときは3枚とも山札と交換できます。

手札3枚

通路の行き止まりやループを目指そう!

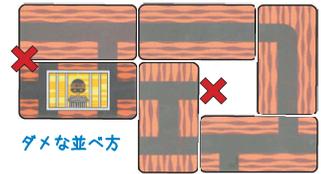


ゲームの勝敗

- ・すべての通路を行き止まりにできたら皆の勝ち。
- ・出せるカードが尽きても通路が閉じなかったら皆の負け。

★おすすめポイント

- ・簡単なルールで、パズルの要素があり、子どもから大人まで幅広く楽しめます。
- ・道をどうつなげるか相談し合いながら、協力して遊べます。



ダメな並べ方



犯人は踊る

¥1,320
(すごろくや/日本)

探偵として犯人を見事に当てるか、あるいは犯人として最後まで逃げ切るか。

カードの役割を上手く使いながら推理する、ババ抜きをより面白く発展させたようなカードゲームです。

- ・人数: 3~8人
- ・対象: 8歳位から
- ・時間: 10~20分位
- ・カード 32枚
 - ・犯人、いぬ、第一発見者、少年 x各1
 - ・一般人、たくらみ x各2
 - ・目撃者、情報操作 x各3
 - ・探偵、うわさ x各4
 - ・アリバイ、取り引き x各5

遊び方

プレイ人数に応じて使用するカードを用意し、よく混ぜ、各プレイヤーに4枚ずつ配ります。

〈第一発見者カード〉を持っている人がカードを出し、ゲームスタート。時計回りに手番が回ります。手番では、手札より1枚出し、カードに書かれた内容を行います。(カードを交換する、犯人を当てる etc.)

カードは全12種類



ゲームの勝敗は3パターン

	勝者	敗者
〈探偵カード〉で犯人を当てる	探偵	犯人&たくらみカードを出した人
〈いぬカード〉で〈犯人カード〉を引き当てる	いぬ	犯人&たくらみカードを出した人
最後の1枚で〈犯人カード〉を出す	犯人&たくらみカードを出した人	その他の人

★おすすめポイント

カードに役割が書かれていて分かりやすく、子どもから大人まで、大人数で手軽にワイワイ楽しめるカードゲームです。